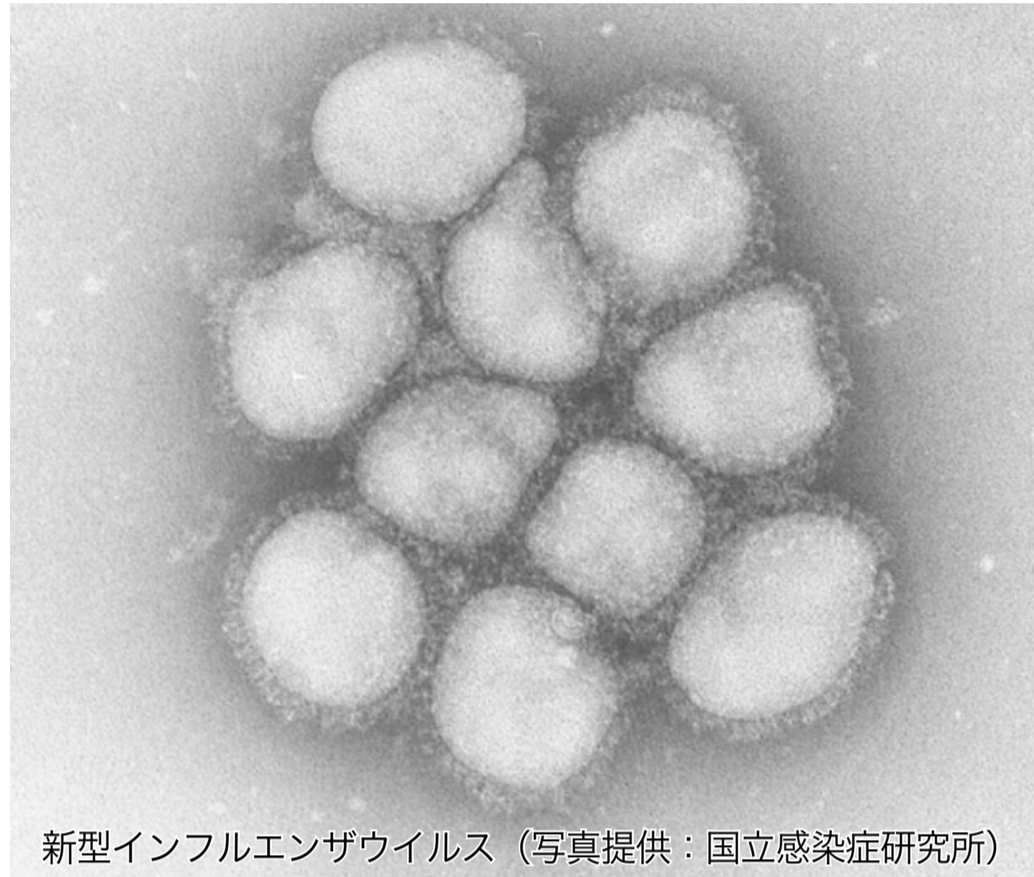


新型インフルエンザ

迅速な行動が重症化を防ぐ!



新型インフルエンザウイルス (写真提供: 国立感染症研究所)

重症化しやすい人は要注意

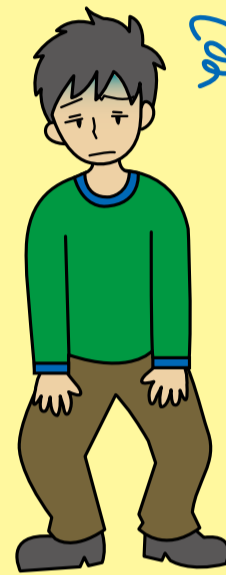
妊婦 (特に妊娠後期)



2歳以下の乳幼児



基礎疾患がある人



- ・喘息、COPDなどの呼吸器・肺の疾患
- ・病的な肥満
- ・心不全などの心臓病
- ・重症な肝臓病や腎疾患
- ・免疫機能が低下している

必ず電話で問い合わせをして、速やかに受診

受診する前には必ず、かかりつけ医や最寄りの医療機関に電話で相談

かかりつけ医がない場合は、保健所の発熱相談センターに電話しましょう。



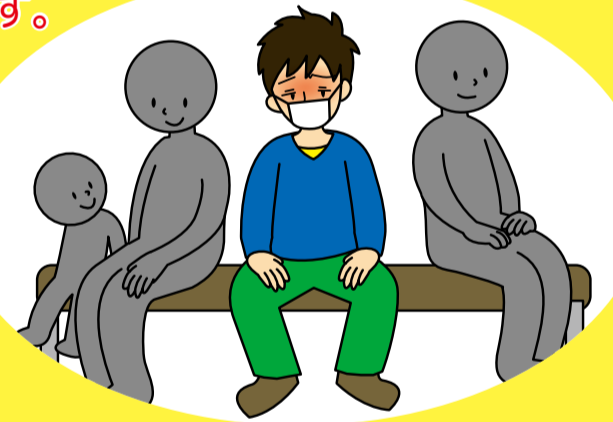
体がつらくても、指定された時間・場所で受診する

抗ウイルス剤が効く時期を逃すと、重症化する恐れがあります。



受診の際は、マスクをしていきましょう

ほかの人にうつさない気配りも大切です。



重症化の兆候と症状を知り、見逃さないことが大切

新型インフルエンザでは、自宅療養が基本です。



体温や症状の程度を毎日確認し、記録しましょう。

肺炎・急性呼吸窮迫症候群

- ・息切れがする
- ・強い咳が続く
- ・呼吸をすると胸が痛む



脳症

- ・意識がもうろうとする
- ・意味不明な言動がある
- ・けいれんする



すぐに医療機関に電話で相談し、指示を仰ぎましょう。

新型インフルエンザ (H1N1) とは

新型インフルエンザ (H1N1) は、鳥インフルエンザほど強毒性ではありません。弱毒性の季節性インフルエンザより毒性が強く、中等度毒性といえます。季節性インフルエンザの潜伏期間は1~2日程度と短いに対し、H1N1では最大7日程度と長めなのが特徴です。鼻汁やのどの痛みなど、かぜ症状発現後2~3日で発熱します。熱が出たら速やかに医療機関に電話で相談してください。抗ウイルス剤による治療が重症化予防の決め手です。感染を広げないために、発症から7日間、または解熱後2日間の自宅療養が必要です。